

部長会議 報告書

平成 31 年 4 月 2 日(火)

3 階第 2 会議室 9:15~10:45

1. 市長訓示

- ・昨日、新元号が発表され、新しい気持ちで挑む年であり、組織としても新たな体制として、市政を前に進めていきたい。
- ・厳しい財政状況と合併算定替の終了を踏まえ、これまでの 6 年間は、目の前の予算を削るという大変な調整に努力をしていただいたが、平成 31 年度の予算編成を無事に終え、今後は市としても新たなフェーズに入っていく。
- ・目の前の改革も必要ではあるが、次の時代を見据えた改革に、しっかりと腰を据えて取り組んでいくこと。また、新しい時代を過ごしていく市民の皆様の満足度を高めていくこと。この二つを両輪とし、しっかりと回していく取り組みを進めていただきたい。
- ・その為にも、全庁的なコミュニケーションの量を増やして、特に部長同士がコンタクトを取り、市全体で取組む意識を持っていただきたい。
- ・また、市役所外の方、市民・団体の方とのコミュニケーションを増やしていただきたい。これまでの厳しい予算編成の中で、ご迷惑をお掛けした部分もあり、今後は信頼関係を構築をして事業を進め、桑名市政の発展、また住民福祉の向上に努めていただきたい。

(人事異動について)

- ・今回の人事異動によって、新たに 4 名が部長級に昇格した。それぞれ、気持ちを新たに全力で職務に取り組んでいただきたい。
- ・地域防災力の向上や市民の減災力向上の支援事業の推進等、防災体制組織の強化を図るため、防災・危機管理担当理事と防災専門監（任期付職員）を配置した。
- ・伊勢湾台風の上陸から 60 年となる今年、防災知識、技術の習得及び養成のために内閣府（防災担当）に職員を派遣する。また、国や県とも人事交流も含めた連携強化を図るため国土交通省、三重県に職員を派遣することとした。
- ・組織、機構の見直しとして
 - * 市長直轄のまちづくり推進課を市長公室政策経営課と統合し、重要なまちづくり事業としての「11 の重点プロジェクト」の推進とその課題解決を、さらに総合企画及び調整をよりスピーディに効果的に行うこととした。
 - * 情報政策室を総務部総務課から市長公室まちづくり推進課内へ移設し、市全体の施策として、ICT 関連事業を企画推進する部署として位置付けることとした。
 - * 建築開発課と都市整備課を統合し、都市整備課内に建築審査室を設置した。
 - * 上下水道部の施設課と工務課を、水道課と下水道課に再編し、より効率的な事業推進を図ることとした。

(リーダーとして)

- ・みなさんは、部という大きなチームを束ねるリーダーであり、マネージャーである。組織の活性化は、みなさんのマネジメント力とリーダーシップにかかっている。
- ・幹部職員としての自覚をもち、部下の規範となり、部長同士の横の連携を十分に取り、また部下とのコミュニケーションも十分に取りながら、職場の全員が仕事のしやすい環境づくりに努めていただきたい。
- ・そうすることで、チームとしての力を高め、組織としての仕事をレベルアップすることを期待している。
- ・職員の積極的なチャレンジを受け止めることができる職場であるよう、部長以下の管理職員が率先して見本を見せていただきたい。
- ・前例踏襲ではなく、原点に立ち返り、事業等の見直しを行い、変化を恐れない気構えを持っていただきたい。
- ・働き方改革を行い、より一層働きやすい職場環境づくりを推進してワークライフバランスの確立を継続して図っていただきたい。

(新年度として)

- ・総合計画 後期基本計画、行政改革大綱、都市計画マスタープランなどの策定に向けて職員一丸となって取り組んでほしい。
- ・市民満足度調査の結果をしっかりと受け止めて、事業に反映できるものは反映して行ってほしい。
- ・市民との対話の機会を大切に、情報（課題）を共有しつつ、信頼関係を築きながらまちづくりを進めていく。
- ・次の3本柱を中心とした持続可能なまちづくりへとつなげていきたいと思っている。
 - ＊「防災の推進」平成31年（2019年）が伊勢湾台風から60年の節目の年に当たることから「防災意識向上元年」と位置付け、更なる防災力強化を図っていく。
 - ＊「地域との連携推進」地域コミュニティ組織「（仮称）まちづくり協議会」の形成に向け、地域住民との対話を重ねながら、市民が主役のまちづくりを進めていく。
 - ＊「スマート自治体への転換」A I や I C T などを活用し、効率的に業務に取り込み、働き方改革に繋げる。また、職員が市民と直接向き合うことのできる体制づくりに取り組んでいく。
- ・持続可能な財政の実現を目指すためにも、現在の業務に民間活力導入の可能性をしっかりと探っていただきたい。
- ・部長が率先して、議会との良好な関係の構築に努めること。また、議員からの要望等については対処の方法を含めて報告をしていただきたい。

(職務について)

- ・良い仕事を行うためには、心と身体の健康が、第一である。
- ・自分自身はもとより、部下の健康管理にも日頃から目を配りながら、幹部職員としての職務を全うしていただきたい。

2. 副市長訓示

(水谷副市長)

- ・今回の組織改正・人事異動により、部局長の顔ぶれも変わり新たな体制となった。気分新たに職務に取り組んでいただきたい。
- ・大きなプロジェクトでは、進め方に難しさを感じている職員も多いと思われる。特に新しいことや、これまでの手法を変える場合は、これまでも増して、部署内また部署を超えての情報共有が必要であり、共通認識を持って取り組んでいける雰囲気づくりを、部局長が先頭に立って進めていただきたい。
- ・職員一人一人が問題意識を持ち、各職場内で議論すること、さらに、納得して仕事を進めていくことが重要であり、市役所全体が前向きに仕事を進めていただきたい。その雰囲気は、住民の方、議員にも伝わっていくものである。

(平野副市長)

- ・私自身の抱負として、新しい元号、新しいスタートを切る年であり、しっかりと役割を果たし、市政の発展に努めたい。
- ・各所管においてはプロジェクト推進のため、次の3点を意識していただきたい。
 - ①全体のスケジュール感を意識すること
いつまでに何を仕上げるのかを見据えて、その中でスケジュール感を持って、スピード感を持って、プロジェクトをやり遂げること。
 - ②プロジェクトをマネジメントすること
例えば、担当者が説明会を行うことだけが役割で、事業を成し遂げるのは他の誰かという意識ではないか、ということが見受けられる。全員が、最終ゴールをしっかりと設定し、スケジュールを逆算し、手法も踏まえてプロジェクトを進めること。
 - ③ソリューション力を高めること
課題解決を図っていくためには、庁内でのボトムアップが大事であり、それによりソリューション力も高まるものである。

3. 自己紹介・新年度の抱負について

全ての出席者から、自己紹介と今年度の抱負が述べられた。

4. その他

(1) 平成31年度 監査実施計画について (総務部)

資料にもとづいて説明。(総務部長)

(2) 市長の現地視察の実施について (地域コミュニティ局) *資料なし

各地域における喫緊の課題に対する現状共有と、可能な範囲の対応策による速やかな課題

解決のため、地区自治会連合会(29地区)を対象に、市長が直接現地視察を行う取り組みを、3月27日から開始している。今後、9月までの半年間を目途に、全地区を回る予定である。
(地域コミュニティ局長)

(その他)

①職員以外の者に対する執務場所への入室管理について(市長公室) *資料なし

「桑名市職員の公正な職務の執行の確保に関する条例」(平成31年4月1日施行)の制定により、職員の責務を明確化し、不当要求行為の拒否、記録、公表をすることができることとなる。庁舎管理においては、職員以外の者に対する執務場所への入室管理について、各所属で入室記録簿を使用する等、適切に対応いただくようお願いする。(統括監)

②職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の一部改正について(市長公室) *資料なし

「桑名市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則」一部改正により、第10条(時間外勤務を命ずる際の考慮並びに時間外勤務を命ずる時間及び月数の上限)に関して、職員の時間外勤務の上限に関する運用について、適切に対応いただくようお願いする。(統括監)

③部長会議のスケジュールについて(市長公室) *資料なし

- ・議題資料の提出期限は、原則、会議開催日の前週の水曜日の正午までに、事務局(まちづくり推進課)まで提出していただきたい。
- ・6月4日に予定していた部長会議は議会関係のスケジュールにより中止とし、議題・課題提案の担当部局は1回づつ後送りとする。変更後の予定表は、事務局より案内する。
- ・次回部長会議の議題は、各部の目標・抱負であり、添付の様式にて「課題/目標/手段・方策」がセットとなるよう作成していただきたい。(統括監)

④平成31年度予算の執行について(総務部) *資料なし

- ・4月1日付け全庁掲示板にて、平成31年度予算の執行についてお知らせしているが、特に留意いただきたいのが、歳出予算の執行では、時代の変化や市民ニーズに機敏に対応できるよう、継続事業については事業の在り方や実施方法について再考し執行の効率化を図り、また、事業成果を検証し今後の方向性を定め、次年度の予算編成に反映するようお願いしたい。(総務部長)

⑤知事・県議会議員選挙について(総務部) *資料なし

- ・三重県知事・三重県議会議員選挙が、4月7日に執行される。期日前投票者数は前回選挙を上回る状況であり、投開票事務では職員の皆さんのご協力をお願いする。(総務部長)